

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「地域に根ざした誠実でよりよい医療・介護の実践」の理念もと運営している。			・理念を共有できていると思います。たきたきカフェの運営などを通じて地域とのコミュニケーションを図り、また地域の清掃活動にも参加されるなど、地域に根差した事業所運営が出来ていると思います。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事(クリーン作戦・地域の研修会)や認知症カフェに積極的に参加して交流している。	・行事を通して、利用者と地域がつながりをもてるように工夫されていると思います。・村用(草刈り等)への積極的な参加には感謝している。・ご本人の気持ちを聞きながら地域行事に積極的に参加されている。・たきたきカフェの運営に関しては毎回、様々な催しものを企画されており、多くの地域住民の参加があると聞いています。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営報告後、出席者から情報収集をしている。身体拘束適正化、高齢者虐待、認知症カフェの運営についてもアドバイス等を求めている。	・出席してはじめて個人の尊厳を守る高齢者施設の取組に感銘を受けた。一方で安全面についての難しさも職員の大変さを感じた。会議で出た意見をサービスに活用されていると思います。積極的な意見を言えるように配慮いただいている。・毎回、利用者の状況、身体拘束に関する状況など報告頂いています。また、認知症カフェの参加人数、催しの内容など細かく報告頂いています。また各委員に意見も求めています。		・(今後の課題)広報で呼びかけてもらっているが、認知症カフェへのボランティアが増えない。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市主催の会議、認知症カフェ、事故報告、運営推進会議を通して協力関係を築くように取り組んでいる。	・市、紀洋会、小田中地区住民、民生委員それぞれの立場で話ができてよかった。・綿密に連絡を取られていると思います。・運営推進会議には市の介護保険係からも参加頂けており、連携は取れていると思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の研修や身体拘束適正化委員会の検討内容を職員にも周知している。夜間を除き玄関の施錠はしていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎回の委員会で丁寧な報告や質問に対する回答やその考え方において適切に対処されていると感じます。・防犯などの視点も踏まえながら適切な身体拘束防止に取り組まれていると思います。・研修もしっかりと受けておられ個々の意識が高いと感じます。・不意に訪問させて頂いても扉はいつも解放されており、入りやすい状態だと思っています。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止において事例検討や事業所内外での研修を通し再確認している。ストレスチェックや面談を通してストレスを溜めないように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできる C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の方とのやりとりを見ている信頼関係が職員と結ばれ、安心して生活している様子が感じられました。・研修だけでなく、職員がストレスをためないような工夫を通じて、虐待防止に取り組まれていると思います。・認知症の方の対応は難しい面も多々あり、職員の方のストレス管理は大変だと思っています。皆さんで上手くストレス内容の共有や解消をされるよう努めてください。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度利用者はいないが、過去の経験を活かしている。事業所にはパンフレットを置き啓発に努めている。			・パンフレットにより啓発をされたり、各制度を活用できるような支援の準備がされているのであれば、十分にできていると思います。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時や改定の際には丁寧に説明をして理解を得るようにしている。改定の際は書面での説明以外にも不明な点がないか尋ねている。			利用が始まる事で安心され契約の中身は忘れておられるご家族も多いかもしれません。家族とのコミュニケーションの中で必要に応じて契約の中身をそれとなく織り交ぜておかれるのも良いかもしれません。
	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見苦情の窓口だけでなく、外部評価の公表や家族アンケート、行事、日頃の面会や電話連絡での意見を反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者家族ともビジネス的な話だけでなく、親身に願いや悩みを傾聴される姿勢が見られる。報告の中でも腹を割って話されていると感じた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会議だけでなく、日常的に意見や提案がしやすい環境をつくるように心がけている。また、職員が管理者を評価するアンケートも実施している。			・より良いケアとスタッフのストレス管理というリスクマネジメントも含めて風通しのよい事業所運営は今後も続けて頂ければと思います。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の就業環境に配慮している。また、得意分野を業務やケアに活かせるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・24時間安心安全な環境を整えるための苦労は多方面にあると思うが、できる限りの配慮や工夫をされていると思う。・個々の職員の苦手をそれぞれの得意分野でカバーし合い、今後もより良いケアに結び付けてください。
	12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパスを有効に活用しながら、資格の取得への啓発や法人内外の研修への参加を促している。毎月のweb研修を取り入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内外の研修会の参加、法人内の職員交換研修を実施している。			・所長研修の一端を聞かせていただき、新しい情報を取り入れ研鑽を積んでおられると感じた。・職員交換研修について教えて欲しい。→キャリアパス3級職員を対象。他事業所での勤務を経験することで、知識を深め技術を習得し成長の場としている。また、人事交流により情報交換を行い、業務改善につなげている。・グループホーム大会の抄録原稿、拝見しました。内外の研修で得られた情報など、活用可能な情報が有れば良いケアに結び付けてください。
	14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は暮らしの主役は入居者であることを理解し、食事・洗濯・掃除・買物などできることを見極め支援している。		

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅への外出、知人宅への訪問、敬老会への参加、認知症カフェでの交流支援を積極的に行っている。	・地域に発信されている広報誌でホームのことを広く知らせ、地域から孤立せず、地域の中でも話題になっています。(〇〇さん元気そうやね…とか)・施設外への交流を積極的にされていると感じる。・個別性のある支援の一つで大切な事と思います。これからも続けて頂ければと思います。・入居されても自宅に戻られたり、地域行事への参加などこれまでの生活が可能な限り継続出来ているのは素晴らしいですね。		・敬老会への参加は実現していますか？→事業所から送迎を行い参加されました。
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴や日常生活での言動、表情からくみ取れるよう努めている。家族や知人からの情報も活かすようにしている。			・入居者ひとりひとりを理解できるように工夫されていると思います。・ホームに伺った時の利用者の表情が明るく自分らしい暮らしをなさっているようです。・認知症ケアにおいて、その時だけでなく過去の生活歴や趣味嗜好など多角的に意向をくみ取るのは大切である一方、スキルが必要な事と思います。難しい事も多いと思いますが、努力の継続をお願いします。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族から意向を伺い、話し合いの場を設けている。現状に沿った介護計画であるか、ケアマネージャーと連携しスタッフ会議でも検討している。	・亡くなった方について、どのように家族と話し合い、医療機関と連携してこられたか、1つの事例としてうかがった。ホームとして筋の通った対応であったと感じた。・一人ひとりの理解があつてこそ、利用者に対し家族のような目線で、きめ細やかにケアできるように工夫されていると感じた。・本人や家族などと十分に話し合いをされたうえでケアプランを作成されていると思います。・現場スタッフの皆様がよく利用者状況を把握して頂いているので、プラン作成の参考にさせて頂いています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録や申し送り、日々の業務の中で情報を共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の忙しい仕事の中でも、あつたことを共有しようと努力され、機会あるごとにその働きかけをされていると報告を聞き感じた。・記録などを通して支援の内容を共有されていると思います。・24時間の施設にあって、職員の勤務時間もバラバラですので、情報共有の徹底は大切ですね。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診対応や入退院の送迎、外出時の自宅への送迎、知人との面会のサポートなど、可能な限り柔軟に対応している。	・事業所からの説明、報告で充分に対応されていることがよくわかる。・個人にあつた支援ができるように工夫されていると思います。・職員数が少ない中でみなさまが頑張っておられることに敬意を表します。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所・地域包括・まち協・医療機関などと情報の共有を図り、よりよい暮らしができるように努めている。	・地域の機関と協働しながら支援に取り組まれていると思います。・たきつきカフェへの利用者の参加がとてうれしいです。他の参加者との交流やふれあいができている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医は法人内の医師であり、入居時に同意を得ている。月2回の往診や必要に応じて外来受診をしている。			・主治医の同意を得て適切に医療を受けられるようにされている。・月2回の定期的な往診は安心できる。・定期往診の他、容態変化時の連携など細かく支援されていると思います。

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの場合が法人内の病院となっている。主治医や看護師との連携が円滑に行えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の必要に応じたケアを家族の理解のもと適切に病院を連携していると感じた。・法人内の病院で治療を行うことにより、円滑に治療・退院ができるようにされていると思います。・入院医療機関との連携が円滑にできることは、ご本人にとってもご家族にとってもありがたいことですね。・必要に応じ病院と連携し入院。入院中の情報収集や退院後のフォローまで出来ていると思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に終末期について説明をして意向確認をしている。状態に変化があった場合、本人や家族を中心にチームで相談し方針を決めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・(9項でも述べた通り)家族との信頼関係を結び悩みも受け止めながらよりよいケアを共に考え対応されていると感じた。・終末期について、十分に説明されていると思います。・容態変化時のご家族への報告やサービスへの意向の聞き取り、ケア内容への反映など迅速にされていると思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護事業所指針やBCPに沿って対応できるように研修や訓練をしている。			・職員の熱意に感謝です。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練や研修を実施している。地域の防災訓練に参加、運営推進会議で災害についても話している。また、法人内での協力体制も整備している。	・火元から遠い避難経路をとる為に段差の解消、あるいは、避難後の利用者のケアの為に人員確保、地域との連携、支援の確保が大切であると感じた。・避難訓練を拝見し対応について、よく練られていると感じた。・ホームと同地区に者として災害時に自分にはできることはないかと行動するように努めたい。・運営推進会議で避難訓練を見せていただいた。夜、1人での避難がいかに大変であるかがわかり、訓練の大切さをより感じた。その場で意見も出て有意義な機会だった。・夜間を想定した避難訓練を見学させて頂きました。火災発生時の近隣職員や法人内の連絡体制が構築できている点は良かったと思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとりひとりに適した関わりや言葉かけをすることで安心できる人間関係を構築している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者を認知症で何もわからない人できない人とせず、好みや願いもふまえたケアやイベント、日々の生活に取り組みされている。・職員が利用者の各人によく声かけをされていて素敵だと思っています。・運営推進会議を施設内で行っているため、よく声かけする場面をみるが、いつもあたたかいと感じる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床就寝は入居者のペースを優先している。体操や余暇時間、音楽療法など、本人の希望に沿った支援をしている。			・全てを入居者ペースにしてしまうと、昼夜逆転等、生活リズムが崩れる場合があるかもしれません。本人の生活リズムを極力大切にしながらも、健康維持の観点から良い生活リズムが保たれると良いですね。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できることを見極め、買物・調理・片付けをしている。菜園の野菜を活用すること、一緒におやつを作るなどは好評。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・農業経験や女性で料理をしてきた方に活躍の場があり、広報誌にもその様子が見られ、よい雰囲気であると思う。・利用者様のできることを職員と一緒に行動されている様子をよく見ます。・ご自身が栽培や収穫に関わった菜園の物を使ってのおやつ作りはきっと満足度が高いことと思います。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の管理栄養士による栄養評価を受けることで、バランスを考えた献立や調理をしている。また、食事形態、体重の増減、既往歴に配慮して支援している。			・利用者の嗜好、食べやすさ等も考えながら栄養バランスへの考慮、健康状態への配慮など配慮すべきことが多く大変ですね。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアも自立支援と捉え、毎食後に実施。歯科医の往診が月1回、衛生士の口腔ケアが週1回行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・報告でこのような取り組みをされていることを知り、よいことであると感じた。家ではしてもらえないことである。・口腔ケアが週一回も受けられることは安心できる。・歯科の専門家が定期的に関わっておられケアが充実していると感じます。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チャートを活用して排泄パターンを把握して支援している。できる動作は自身で行ってもらうように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄は個人の尊厳に関わることであり、職員にとっても大変な作業であると思う。今後も綿密に取り組んでいきたい。・できるだけ自身で行えるように見守り、励ましていただけることはありがたい。・排泄の自立はその人の尊厳を守る意味でも大切だと思います。これからも継続支援をお願いします
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り希望に沿えるように支援している。午後の夕食までに入浴をして一日の疲れを癒してもらうようにしている。状態に応じて特殊浴での入浴もしている。			・本人の状態、希望に応じて入浴時間を設定されているので、十分にできていると思います。・ひとりひとりの希望やタイミングを優先することは大変だと思う。・職員配置、個々の利用者の希望、タイミングなど考慮すべきことが多いと思いますが、安全第一で可能な限り支援してください。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康に影響が出ない範囲で本人の意向を尊重している。室温や照明、寝具なども個人に応じた支援をしている。			・本人の健康に配慮しながら安眠できるように工夫されているので、十分にできていると思います。・ホーム内での一日のスケジュール、本人の元々の生活リズム、健康への影響を考えた生活リズムの管理など、これも多角的に考慮しなければならないことですね。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬を理解し症状の変化に応じて、主治医・看護師に報告をして指示を受けている。処方せんはいつでも確認できるように管理している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・細やかな観察、声かけ、ケアの中で症状や変化を把握され、投薬に生かしておられると感じる。・服薬についても医療関係者と連携されているので十分にできていると思います。・利用者ごとに服薬の内容も違っており様々な薬が有りますが、覚えるの大変だと思います。処方箋がいつでも確認できるようにしてあるのは良いと思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除・洗濯・調理・菜園・作業などを無理のない範囲でもらっている。職員は感謝の気持ちを本人に伝えるように徹底している。	・利用者が制作された季節の掲示は工夫され見ごたえがあり、利用者の方もよろこんでおられる姿が見えました。・職員が感謝の気持ちを本人に伝えるように徹底されているので十分にできていると思います。・職員から利用者への感謝の気持ちを伝えることは素敵ですね。・出来ることを利用者に参加してもらいながら行って頂き、感謝の言葉を伝える事は、役割意識や自己肯定感を上げるためには大切だと思います。これからも継続してください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望に沿った外出ができるようになってきた。認知症カフェへの参加を楽しみにされている方もいる。	・本人、家族の希望に沿って外出支援をされているので十分にできていると思います。・地域行事への参加の際は私のできることで協力したい。・認知症カフェで地域の方と交流を持たれている。・市内のコーヒー店に皆さんで出かけ、食事を楽しまれた事も有ったと聞きました。コロナの規制も緩和されてきて良い傾向だと思います。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	預かり金は事業所で管理し、可能な限り支払いができるように支援している。家族に了承を得てから本人に所持してもらうこともある。			・金銭を事業所で管理しながら自立支援の一部として金銭所持、支払いの支援をされているので十分にできていると思います。・こんなことまで支援されているのですね。・自身でお金を所持し、欲しい物を買、所有欲を満たす事はその人らしくあることを支援する上でも大切だと思います。無理無い範囲で継続してください
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に電話や手紙のやり取りができるように支援している。個人情報の取り扱いについては入居時に確認をしている。			・個人情報に注意しながら本人が連絡をとれるように支援されているので十分にできていると思います。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に応じた安全配慮に努めている。本棚には書籍や雑誌、季節感のある作品、分かりやすいカレンダー、地域住民からの風景写真の寄贈などで工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・つまづくなどの事故があれば、丁寧に検討して再発防止に努める中、できる限り、温かで楽しみのある場所になるように工夫されている。・入居者の安全に配慮しながら楽しく生活できるように工夫されているので、十分にできていると思います。・利用者の個性を発揮できる機会ですね。共同作品をながめながら暮らせることはしあわせなことですね。・清潔感のある空間が保たれており、また季節の制作物が飾られていたりアットホームな空間となっていて良いと思います。
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や自宅への帰省は徐々に再開している。ホームでの暮らしにおいては、可能な限り意向に沿うようにしている。			・本人の健康状態、認知症の状態によって全ての思いに添いきれるものではないかもしれませんが、いろんなリスクとのバランスを取りながら可能な限り意向に沿っていただければと思います。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切に情報を把握して希望に沿ったケア・支援ができるようにしている。本人、家族にも支援について意向確認をしている。			・希望などが自らはっきりと伝えられなくなってきたときに、生活歴や習慣などを把握しておくことが大切です。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医・看護師・歯科医・歯科衛生士・リハビリスタッフ・ケアマネージャーと共同してケア・支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者ひとりひとりと温かな声かけを交わし、利用者からも声をかけている姿を見る。健康面、心の面共に連携されてのことと感じる。・医療法人という強みを活かして健康面に配慮した支援を続けてください。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝起床時間、夜間の照明、テレビをつけて寝る、日々の更衣、洗顔に化粧など個々に応じて支援している。			・個々の習慣を認めて個々に支援されていることよいですね。・入居者個人のペースとホームとして1日で提供すべきサービス(食事、入浴)などや職員配置状況などの兼ね合いの調整が難しいかと思いますが、可能な範囲で利用者個人のペースをこれからも尊重して頂ければと思います。

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた家具や家族の写真、思い出の品を持参されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の中には帰宅を願う言葉もあると思うが、プライベートも守られ、清潔で温かな雰囲気な中、安心して生活をされていると見受けられる。・限られた空間で全てを持参するのは難しいと思いますが、少しでも慣れ親しんだものを多く目につく環境が作れて穏やかな生活が出来ると思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩、ドライブ、買物、外食、認知症カフェに参加されている。	・認知症カフェへの参加、大変うれしいです。移動などの支援できることがあれば言ってください。・外食レクが行えるようになったのはコロナ後の大きな進展だったと思います。		・長く関わっておられると徐々に出来ない事や分からない事が増えて行き、不安の訴えや意欲喪失される入居者も居られるのではないかと思います。徐々に変化する能力も見極めながらの支援も大変な事だと思います。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入居者ができることを見極め、日常生活の中で発揮できるように支援している。不安になる前に対応できるように努めている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除・洗濯・調理・菜園・作業などを無理のない範囲でもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ過の外出自粛もおさまり(流行はおさまっていないが)少しずつ楽しみを増やしておられる。・限られた職員、時間の中で全てを満たす事は難しいと思いますが、可能な限り、個々の入居者に見合った活動の場を提供して頂けたらと思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買物や認知症カフェへの参加している。また、地域の人々が来られた際はホームでも交流ができている。	・グループホームでの支援により本人は交流を持つことができていると思います。・ホームを出て他者交流できる機会が得られているのは良い事だと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしの中では職員や入居者同士のつながり、医療、歯科、リハビリ、栄養、音楽療法のサポートによって安心と楽しみのある暮らしを送っていただけるようになっている。また、友人とのつながりや外出、家族行事も再開している。今後も個人に応じた柔軟なサービス提供を継続したい。	・入居者の外出機会が徐々に増えていると聞いた。・地域との連携は手間のかかる面も多いかも知れないが、積極的にとらえ、また、たきたきカフェの利用もされている。入居して健康、身体のケアだけでなく心豊に生きることを目指されていることに敬意を表します。・本人の特性を活かしながら、適切なケアをされていると思います。また、ケアに必要な連携、情報共有も充分にされていると思います。・個々に応じた柔軟なサービスを今後もよろしく願います。・利用者の方はとても安心してすごされていると感じます。・入居者同士や職員と何気ない日常生活が自然体で送られていて良いと思います。また、適宜外出出来ていたり、家族とも交流できる行事が再開しているとのこと。入居者の生活も充実している事と思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

(参考様式4)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム篠山東

作成日： 令和 8 年 2 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	急変や事故発生時、災害に備えて訓練や研修を実施しているが、より確かな備えになるように取り組んでいく。	急変や事故発生時、災害時に適切な対応がとれる。	定期的に研修や訓練を繰り返し実施する。地域の研修や訓練に積極的に参加していく。地域自治会長にも会議に参加してもらい事業所のことをより理解してもらおう。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。